

道徳通信

No.3 2022年(令和4年)5月6日(金)



学習日：4月28日(木) 内容：「愛」

「腎不全」という重い病気にかかっている主人公の母に、自らの腎臓を提供してくれた健おじさんのやさしさや勇気に触れ、主人公が本当の人間愛に気づき、感謝の気持ちを持ってこれからの人生を生きようとする内容でした。感謝の気持ちを持って助け合い、協力し合って生きることの大切さについて考えました。

【生徒の考え】 「腎不全の病気の方に自分の腎臓を提供するか。」※ パーセントは自分の気持ちを数字で表したものです。

提供する：100%

理由：自分の家族には、提供して、病気が治ってほしい。

提供する：75% 提供しない：25%

理由：自分のきょうだい苦しんでいて、自分しか助けられないとしたら、絶対提供

提供する：60% 提供しない：40%

理由：手術の恐怖とか手術後の痛みとかは嫌だけど、ずっと苦しんでいるのを見られるほど心は強くないし、自分は健康だから。提供しなかったら、家族でいることに後ろめたさを感じそう。

提供する：25% 提供しない：75%

理由：家族は守りたいけど、自分の体が健康じゃなくなるって考えると不安になるから。

提供する：80% 提供しない：20%

理由：自分のきょうだいが苦しんでいるのに、見捨てられないからです。でも、自分が死んでしまったりする怖さがあるから、提供しないが20%です。

提供する：50% 提供しない：50%

理由：苦しんでいる姿を見るのはすごく嫌だから提供したい気持ちもあるけど、自分も同じ痛みが来ると思うと相当な勇気がいる。だから相当迷うと思う。

ご飯を食べる時に「いただきます」と言いますが、これは「命をいただきます」という意味です。腎臓の提供ではありませんが、私達はさまざまなものをいただいたり、何かに支えてもらいながら生きています。何も食べないという訳にはいきませんが、感謝の気持ちを持ち、生きていきたいものです。